

農業用水の利用及び施設の自動化による省力化とブランド化 ～埼玉県深谷市 小林 孝之氏～

経営体の概要

事業実施前：平成14年以前
基幹作物：カランコエ
経営面積：0.9ha



現在：令和6年
基幹作物：カランコエ
経営面積：1.2ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

- 井戸水を運んでかん水していたため、労力を要するだけでなく、必要な用水を確保することも難しかった。
- 井戸水の水質も栽培上の課題となっていた。



【現在】

- 国営荒川中部事業及び関連事業により畑かん施設が整備されたことで、農業用水が安定的に確保され、かん水作業が軽減された。
- 良質な水質の荒川中部用水を利用することで、栽培上の課題も解消した。

営農改善、経営転換等のポイント

①単収・品質の向上

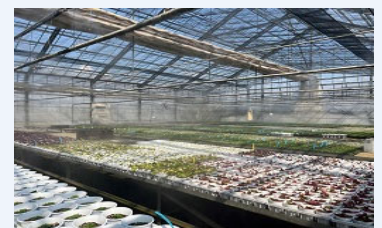
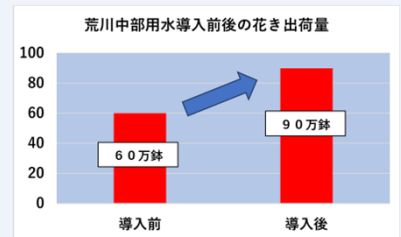
事業実施前は、井戸水を運んでかん水していたが、水量が少なく、ほ場までの運搬にも労力を要していた。また、井戸水は鉄分が多く栽培上も課題となっていた。事業により畑かん施設（給水栓等）が整備されたことで、水量や水質が安定し適切なかん水や薬剤散布が可能となり、出荷量が向上（60万鉢→90万鉢）した。

②省力化

給水栓から直接かん水が可能となり、かん水作業が軽減され栽培面積が拡大（0.9ha→1.2ha）。また、ハウス内のかん水、温度管理、カーテンの開閉をすべて自動化することでさらなる省力化を図った。

③流通・販売の工夫

生花市場は競合他社が多く、大手業者の商品の知名度が高いことから、自社の鉢物に「咲きっこ名人」といった商品名を付けて出荷。さらに、独自のキャラクター「お花の妖精ユーミーちゃん」を作成し、商品のパッケージにシールを貼ることで他社の商品との差別化を図っている。



ハウスでの栽培の様子



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：埼玉県本庄市、深谷市、大里郡寄居町
受益面積：3,212ha
事業期間：平成26年～令和8年
事業目的：農業水利施設改修、用水再編及び地域用水機能の増進
主要工事：頭首工改修1箇所、揚水機場改修1箇所
用水路L=57.1km

位置図



<問い合わせ先>

関東農政局
農村振興部農地整備課
競争力強化事業推進担当
電話：048-740-0116

（令和6年度調査時点）